



株式会社手塚郁夫りんご園の皆さん

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
手塚真実、栃木県市矢板市
- ◆設立年  
令和4年7月1日
- ◆経営規模  
りんご 3ha、直売所20㎡
- ◆従業員数  
正社員2名、パート・アルバイト7名
- ◆事業内容  
農産物の生産・直売、ネットを活用した販売促進活動に加え、ジュース等の加工品の販売に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

昭和56年に就農、平成8年に経営を継承し、規模拡大を図る中で、経営をより安定させるための、**新たな人材の確保が課題**となっていた。また、**雇用の安定化を図るために、社会保険制度の拡充や、待遇、給与等の改善を図るとともに、労働環境の整備について検討したい**と令和3年10月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**や、社会保険労務士による**就業規則の策定、労務環境の改善などに関する助言**を実施した。  
また、普及指導員による**栽培に係る技術支援**を実施した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★家族内の役割分担を明確化するとともに、就業規則や給与規定などを整備し、規模拡大に対応するために必要となる新たな人材を獲得するための職場環境を構築

### ■労働環境の整備と雇用の安定化

社会保険制度の拡充に向けた助言や雇用者の確保に際しての留意点について、説明を受けたことで、円滑に**社会保険制度等の諸規定を整備**でき、**新たな人材確保に向けた雇用体制を構築**することができた。

### ■経営の安定化、拡大化

経営診断により、現在の経営状況や法人化の方向性が整理でき、**経営者の意識改革**が図られた。

また、**経営理念や家族内のルール、役割分担を明確**にすることができ、**経営の安定化や規模拡大に向けた体制整備**を図ることができた。



選果作業の様子

### 今後の意気込み

法人化を契機に、さらなる経営発展を目指し、周年雇用の実施や販売力の強化に向け、自社ブランド力の向上と販路の拡大に取り組んでいきたい。

### 専属スタッフ所感

引き続き、就業規則等の管理・運営の支援を通じ、経営の安定に向けた伴奏支援を実施する。



(株) いのうえの皆さん

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
井上泰一、群馬県伊勢崎市
- ◆設立年  
令和4年9月
- ◆経営規模  
露地野菜 450a、水稻 50a、施設野菜 5000㎡
- ◆従業員数  
役員1名、臨時雇用2名、技能実習生3名
- ◆事業内容  
農産物の生産・販売に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

昭和49年に農業経営を開始し、ガラス温室にミニトマトを導入して収益の向上を図るとともに、キャベツ、ブロッコリー等の露地野菜を組み合わせた経営を行ってきた。「今後、経営の継承が出来ない人が多くなるので、**当地域の遊休施設や農地の受け皿になりたい**」との思いがあり、**法人化による経営効率化・規模拡大を図るとともに、地域農業の継承者を育成したい**と令和4年7月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士及び社会保険労務士を派遣し、**法人化した場合のメリット及びデメリット、並びに現在雇用している特定技能・技能実習生・パート職員等の労務管理及び税制などに関する助言**を行った。

特に若者は、他産業並みの労働条件が当然だと思っている、とのアドバイスをした。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★各作業をマニュアル化を通じて、作業の無駄をなくすとともに技術継承できるようにすることで、新たな従業員の雇用ができる職場環境を構築

### ■就業規則の策定と農業法人の設立

令和4年9月に農業法人「株式会社いのうえ」を設立するとともに、優秀な人材を確保するため、**他産業並みの就業規則を策定**した。

### ■社員募集開始

栽培管理や雇用管理ができる**中核的な人材を育てるため**、令和6年度からの採用を目指して**正社員の募集を開始**した。

### ■経営改善の取組

作業の効率化及びノウハウを継承するため、**各作業のマニュアル化**を図っている。



ミニトマトの選別作業の様子

### 今後の意気込み

- リタイヤした人の施設、農地を活用し規模を拡大したい。
- ・ハウス面積を拡大し、ミニトマトを周年生産化したい。
- ・地域農業の担い手を育成したい。
- ・将来は加工分野等も手がけたい。

### 専属スタッフ所感

地域農業の担い手として期待している。



代表福田智久氏

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
福田智久、埼玉県児玉郡上里町
- ◆設立年  
令和4年2月
- ◆経営規模  
施設野菜 3,000㎡、水稻 40a
- ◆従業員数  
パート・アルバイト8名
- ◆事業内容  
アスパラガス等農産物の生産に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

埼玉県農業大学校を卒業後、平成27年にアスパラガス栽培を主軸に新規就農した。段階的に栽培施設の規模を拡大し、地域環境に合った品種を選択しアスパラガスの長期出荷体系を組立てている。また、6次産業で加工した「アスパラアイス」、生産コストを安価にした「採りつきり栽培」、自動施肥灌水を用いた省力化「ICT農業」に取り組んでいる。

事業拡大のために安定的な雇用を確保するため、**雇用契約や就業規則を作成など、働きやすい雇用体制の整備に関する相談**があり、その後、令和2年12月に法人化に関する相談があった。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★作業手順を可視化し、働き手に合わせた作業の簡素化と専任化を進めることで、従業員の生活スタイルに合わせた休暇が取得できる職場環境を実現

### ■作業を専任・シンプル化

収穫作業、調製作業、配達作業を専任化し、働き手に合わせてシンプルな流れに組立てた。予冷库等の活用により、**経営者が当日の従業員シフトを補完しやすい体制を整えた。**

### ■短時間勤務、休暇を取りやすい体制に

従業員の生活スタイルに合わせて、休暇を自由に取得できる風を整えた。**学生アルバイトや短時間勤務希望者への対応**を行った。

### ■業務の注意点、作業手順を可視化

GAPの考え方を取り入れ、機械装置や手洗い場等に注意点や手順を掲示し、**従業員に対し、農作業安全の注意喚起を可視化**した。



作業場の注意喚起の様子

### 今後の意気込み

上里町でのアスパラガス生産技術の問題点を解決していき、生産規模の拡大を図りたいと思っている。まずは数年後にアスパラガス栽培で周年雇用できる体制を検討している。

### 専属スタッフ所感

農業経営の経営ビジョンが明確であり、経営発展への意識が高く、専門家を活用した支援、コーディネートの効果や意義が発揮できた。今後の、更なる経営発展を期待したい。



イチジクの管理作業をする濱田氏

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
濱田優、千葉県鎌ヶ谷市
- ◆設立年  
令和4年12月
- ◆経営規模  
露地野菜（カブ）6ha、イチジク 0.5ha、直売所120㎡
- ◆従業員数  
役員2名、技能実習生2名、パート・アルバイト7名
- ◆事業内容  
カブとイチジクを中心に農産物の販売や加工に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

家族経営による労働力の不足を見込んで**人材を確保するため、社会保険制度の整備や人材育成制度の確立などを行っていく必要がある。**

また、契約出荷を主としているため、**取引先からの信用性を高める必要があり、法人化を検討**していると令和4年6月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**や、**事業継承に伴う規模拡大や雇用導入を想定した収益シミュレーション、中期計画の作成に向けた助言**を実施した。

また、安定した雇用人材の確保に向け、法人化について支援を実施した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★SNS等を活用し経営理念・ビジョンを伝え人材確保に取り組むと同時に農福連携にも取り込み  
人手不足解消を実現

### ■ SNS等を活用した経営理念・ビジョンの共有

採用の優先事項が「想いを共有できる」なので、**求人の際にも経営理念・ビジョンを伝え**、それに共感できる人材が関心を持ちやすいようにしている。

### ■ JGAP認証取得

2021年4月から、カブにおいてJGAPの認証を受けている。

### ■ 生き生きと働ける環境づくり

「性別」「年齢」「国籍」に関わらず、**多くの人コミュニケーションをとり円滑に笑顔で働ける環境**を作っている。

市内の福祉事務所と連携し、カブの袋詰め作業の一部を業務委託という形で「農福連携」にも取り組んでいる。



直売所兼作業所の外観



「農福連携」により袋詰めしたカブ

### 今後の意気込み

法人化して強い組織を作ること、私たちだからこそできる農業に取り組んでいき、取引先をはじめ、いずれ地域にも貢献していけるような事業を行っていきたい。

### 専属スタッフ所感

事業継承を機に法人化した事例です。JGAP認証や農福連携に取り組むなど、雇用環境整備以外にもモデル的な取組を行っています。



代表の澤登氏

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
澤登浩二、山梨県山梨市
- ◆設立年  
令和3年3月
- ◆経営規模  
果樹3ha（生食用ブドウ、柿）
- ◆従業員数  
役員3名、パート・アルバイト10名
- ◆事業内容  
農産物の生産・地域での共同出荷に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

家族で農業を経営をしながら、石材土木や設計の個人経営をしていた。澤登氏は**農業経営を法人化して、各部門の経営の一本化を図り、効率的な経営管理ができるようにしたい**と考えていた。

**法人化に際し、必要となる手続きについて助言を受けたい**と令和3年8月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**や、社会保険労務士による**労働条件通知に関する助言**を実施。

また、現在の雇用形態上、**加入が必要な保険の制度概要とその手続きについて支援**した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★農林大学校生の研修を受け入れるなど地域農業の担い手育成に取り組むとともに、従業員ごとに農作物の栽培管理を任せることで柔軟な働き方を実現

### ■従業員の確保・育成

**地域とのコミュニケーションを大事にし**、定期的に入づてにアルバイトの方を紹介してもらい、**安定的な人材の確保**に努めている。

**従業員に対しても、県やJA主催の講習会へ積極的に参加させ、栽培技術の向上を図っている。**

### ■地域の後継者の確保・育成

**県外のボランティア団体による農作業体験や県農林大学校生徒を研修の一環として受け入れる等の取組により、将来地域の新たな担い手となり得る人材の確保・育成に注力している。**

また、**地域で共同出荷を行う任意生産者団体のために、自己資金により集荷場を整備した（右写真）。**

これらの取り組みにより、任意生産者団体の数が高齢化により一時期10名程まで減少していたが、これらの取組により現在は25名に増加した。

### ■従業員の予定に合わせた業務体制

**従業員一人一人に特定の畑の管理を任せ、その畑での収益を従業員に還元している。畑を個別に管理させることにより、責任感を持たせる**とともに、従業員の予定に合わせた働き方が可能となり、**時間の融通が利きやすい業務体制**をとっている。



地域農家が共同で利用する集荷場を整備中の様子

### 今後の意気込み

引き続き、担い手の確保・育成に力を入れる。また、地域施設を利用した農泊やマルシェ等の新たな取組により、地域の発展を目指す。

### 専属スタッフ所感

法人化を契機とした経営力の強化が進んでいるとともに、地域活性化の担い手の中心として大きな役割を果たされており、頼もしい限りです。



代表の山本勝重氏と妻のゆかり氏

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
山本勝重、静岡県牧之原市
- ◆設立年  
令和4年10月
- ◆経営規模  
施設花き（切花ガーベラ）40a、露地枝物（アカシア等）10a
- ◆従業員数  
役員4名、パート・アルバイト6名
- ◆事業内容  
農産物の生産及び予約・注文販売による市場との直接取引、新規商品の開発に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

平成16年に就農し、ガーベラ栽培を開始した。  
就農当初から規模拡大を進め、順調に売上を伸ばし法人化を検討していたが、コロナ禍において、市場相場や消費動向の変化により、経営が不安定になった。

法人化の検討に伴い、経営の安定化や財務状況及び労働条件の改善に取り組みたいので、助言を受けたいと令和4年6月に相談があった。

## 2 支援内容

税理士による**財務診断**や**法人化に向けたスケジュールの作成**、社会保険労務士による**社会保険加入時のシミュレーション**及び**就業規則の策定支援**を実施した。

また、**安定した販売が見込まれる新規作目（アカシア）の導入提案及び栽培技術の支援**を実施した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★就業規則の整備を通じて労働条件を明確化したことで、従業員員のモチベーションアップを図りつつ、新品目を導入することで安定した通年雇用を実現

### ■財務状況の可視化による経営改善

これまでは自分で確定申告を行っていたため、業績の分析と対策が十分ではなかったが、税理士による財務診断を受け**財務状況を可視化したことにより、経営の改善点が明確**となった。

法人化に先立ち、**税制面でのメリット・デメリットを自ら十分に理解し、事前に対策**を行うことができた。

### ■新品目導入による収益確保と労働力の分散

**コロナ禍の消費傾向を分析**し、従前の切花ガーベラ主体の経営から、枝物アカシアの**新規導入等による複数品目での収益確保が可能**なリスク分散型経営に転換した。

**販売上のリスク分散に加え、労働力の分散による通年での安定した雇用確保**に繋がった。

### ■労働環境の整備

法人化に伴い**雇用従事者を社会保険に加入**した。

また、**就業規則を策定**し労働条件を明確にすることで、**雇用従事者の労働意欲の向上**に繋がった。



新規導入した枝物アカシア（ミモザ）

### 今後の意気込み

法人化の後、求人への募集が急に増えました。経営方針も明確になったことから、部門別の担当者の配置も検討するなど、経営内容に厚みを持たせていきたいです。

### 専属スタッフ所感

攻めながら守るというバランスの取れた経営センスには敬服します。法人化を契機に、業績のさらなる飛躍を期待しています。